

## 共同ワーキング・チームにおける中長期課題の進め方 (案)

### 1. 中長期課題の検討事項

中長期課題については、第2回会計基準等部会での議論の整理として、以下の事項が掲げられているところである。

#### 1. 財務報告に関する基礎的前提論点

- 主要な財務報告利用者（利害関係者）の整理
- 独立行政法人の財務報告の目的・機能の整理
- 整理された財務報告の目的と機能を踏まえた財務報告の構成
  - ・ 非財務情報を取り入れた財務報告
  - ・ 「損益計算書」と「行政サービス実施コスト計算書」の関係性の整理

#### 2. 財務諸表の構成要素（資産、負債等）の定義の整理

- 「利益」の概念整理
- 「利益」に関連する構成要素の概念整理
  - ・ 収益、費用、資産、負債、純資産の概念整理
  - ・ 純資産の概念に関連する財産的基礎の概念整理

#### 3. 国際的な会計動向を踏まえた課題

- IFRSに収斂する企業会計と企業会計原則を原則とする独立行政法人会計基準との関係整理
- 独立行政法人会計基準改訂時におけるIPSASの規定の斟酌
- IPSASの適用可能性の整理

### 2. 中長期課題の検討事項の検討順序

#### (1) 前提

中長期課題の検討に当たっては、検討する各論点の関係性も考慮した上で進める必要があると認識する。

また、各論点で一定程度の議論の結論が出た後でも、その後の論点の検討過程において、各議論の結論の見直しが必要とされる場合も考えられ、ある程度柔軟に進める必要がある。

さらに、円滑な議論を進めるにあたっては、各委員の問題意識を共有する観点から、一定の区切りごとに議論の経過（※）をまとめることも重要と認識する。

※ 議論の経過は、飽くまでも経過をまとめたメモとして、各論点での振り返りに活用いただくものを想定。そのため、まとめることにより、その議論の内容が固まる性質ではないことに留意。

## (2) 各論点の進め方

上記を踏まえ、次のように進めることとしてはどうか。

### 1. 財務報告に関する基礎的前提論点

- ① 財務報告目的や利用者の概念を整理した上で、財務報告の構成や必要となる非財務情報の内容を検討。
- ② 次に、財務報告や利用者の概念と、必要となる非財務情報を踏まえ、「損益計算書」と「行政サービス実施コスト計算書」の関係性等（例：情報の過不足、必要性の精査等）を検討。
- ③ ②が終了した段階で「財務報告の基礎的前提論点」の議論経過を取りまとめ。  
※ 全体の議論の途中経過として残すものであるため、以後行われる議論内容を踏まえ変更され得るものである。

### 2. 財務諸表の構成要素（資産、負債等）の定義の整理

- ① 「利益」の概念整理を行い、独立行政法人に利益における考え方を再整理し、②以降の議論を円滑に行うため、利益の考え方を議論の経過として整理。
- ② ①を踏まえ、まずは「利益」に対応する「収益」の考え方を検討。
- ③ 「収益」の考え方が整理され次第、「『利益』と『収益』の考え方」について議論の経過として整理し、その上で、費用、資産、負債、純資産の概念や、財産的基礎の概念を検討。

### 3. 国際的な会計動向を踏まえた課題

本課題で掲げている3つの事項は、各論点に幅広く関係するものであることから、随時、検討・整理する性質のものと考える。

## 3. 中長期課題の成果物と対応等

中長期課題の成果物とその対応については、次のとおりとしてはどうか。

- 企業会計やIPSA Sの概念フレームワークに類するものとして、「今後の独立行政法人会計基準改訂にあたっての基本的な指針」(仮称)の形で、今後、独立行政法人会計基準を改訂するにあたっての指針を策定。その上で、指針と会計基準の考え方が整合していない部分を随時改訂。
- 議論の検討内容を踏まえ中長期課題の成果物である指針に関連して、各分野に関する附随的な資料や報告書を別途取りまとめ、指針をより実効性のあるものとする(例:財務諸表利用者に対する啓蒙資料など)。
- 中長期課題の検討の進捗状況等によっては、段階的に随時報告する場合も考えられるが、中長期課題の成果物の一環を成すことから、共同ワーキング・チームで方針決定の上、両部会です承・決定。

## 4. 中長期課題の検討スケジュール

以上を踏まえ、中長期課題の対応にあたっては、当面2年間を目処に、別紙のスケジュールで進めることとしてはどうか。

## 共同ワーキング・チームにおける中長期課題の検討スケジュール(案)

中長期課題の検討論点	平成27年						平成28年						平成29年					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1回	第2回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第8回	予備							
1. 財務報告に関する基礎的前提論点																		
○主要な財務利用者(利害関係者)の整理	●		●															
○独立行政法人の財務報告の目的・機能の整理	●		●															
○整理された財務報告の目的と機能を踏まえた財務報告の構成																		
・非財務情報を取り入れた財務報告			●		●													
・「損益計算書」と「行政サービス実施コスト計算書」の関係性の整理			●		●													
会計基準等部会への中間報告案の検討							●											
2. 財務諸表の構成要素																		
○「利益」の概念整理							●	●	●									
○「利益」に関連する構成要素の概念整理																		
・収益、費用、資産、負債、純資産の概念整理								●	●	●								
・財産的基礎の概念整理									●	●								
会計基準等部会、評価制度委員会への報告案の検討															●			

※スケジュールは見込みであり、議論の検討状況によって大きく変わりうる。

※各検討論点の結論は、以後の論点の議論の内容を踏まえて見直し、再検討される。

※会計基準等部会への中間報告は、これまでの議論の途中経過を取りまとめて報告するものであり、以後の議論の内容を踏まえて変わりうる。

※会計基準等部会で整理された「国際的な会計動向を踏まえた課題」については、当該表の各論点に幅広く関係するものであることから、

各論点の検討時において、随時、検討・整理する。